

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

**外国有価証券を対象とした有価証券貸付取引の開始と  
リスクアセット表への影響についてのお知らせ**

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は弊社の投資信託に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社では外国有価証券を対象とした有価証券貸付取引（以下、レンディング取引）を開始いたします。本件にあたり、リスクアセット表への影響についてお知らせします。

レンディング取引は、機関投資家や年金基金、投資信託等が保有する有価証券を証券会社等に貸し付けることで品貸料を得る仕組みであり、海外では広く活用されている運用手法です。これにより、ファンドのパフォーマンス向上や運用効率の改善が期待されます。

弊社ではこれまで日本株式を対象としたレンディング取引を実施してまいりましたが、このたび米国株式においても体制整備が完了したことから、一部ファンドにて新たに導入する運びとなりました。

なお、本取引の開始に伴い、対象ファンドの運用方針や運用プロセスに変更はございません。また、受益者のみなさまにおかれましては、特段のお手続きをいただく必要はございません。

本件につきまして、ご理解賜りますとともに、今後とも弊社投資信託をご愛顧の程、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

**1. 外国有価証券レンディング取引の概要**

- 今回、ファンドで行われるレンディング取引は、国内の大手信託銀行をレンディング・エージェントとし、レンディング取引に係る事務を行います。このレンディング・エージェントを介したレンディング取引は、外国有価証券のレンディング取引においては一般的なスキームとなります。
- 今回のレンディング取引は、以下の①～③のプロセスによって行われます。
  - ① レンディング・エージェントは有価証券の貸付取引の執行を行います。
  - ② レンディング・エージェントは貸付先から貸付有価証券残高に対して十分な金額の担保を現金で受け入れます。
  - ③ レンディング・エージェントは担保として受け入れた現金について、リバース・レポ取引による再運用を行います。
- レンディング・エージェントは三菱UFJ信託銀行ニューヨーク支店となります。
- レンディング取引により生じた収益の50%程度がファンドに帰属します。なお、帰属する比率はファンドごとに規定しております。詳細は各ファンドの費用の項目をご参照ください。
- レンディング取引の相手方の経営破たん等を原因とする債務不履行による損失については、レンディング・エージェントが補償します。

## 2. 目的

リスクを抑えながらファンドのリターンを高める手段の一つとして活用し、パフォーマンスの向上をめざします。

## 3. 対象ファンド

レンディング取引を行う「S & P 500 インデックスマザーファンド」を組み入れるファンドが対象となります。

| 対象ファンド                                  | 銘柄コード |
|---|-------|
| MAX I S 米国株式 (S & P 500) 上場投信           | 2558  |
| MAX I S 米国株式 (S & P 500) 上場投信 (為替ヘッジあり) | 2630  |

## 4. 開始時期

2025年12月以降

## 5. リスクウェイトにおける影響

### (1) 有価証券の貸付取引について

#### ① 信用リスク削減効果前

システム仕様の制約により、リスクウェイトは一律150%とさせていただきます。

#### ② 信用リスク削減効果後

有価証券の貸付取引におけるエクスポージャー及び適格金融資産担保は、同一の通貨建てであり、担保が現金であることから、リスクウェイトは0%となります。

### (2) リバース・レポ取引について

#### ① 信用リスク削減効果前

システム仕様の制約により、リスクウェイトは一律150%とさせていただきます。

#### ② 信用リスク削減効果後

レンディング・エージェント（保証会社）に付与された格付に基づくリスクウェイト（20～150%）となります。なお、現状、弊社が利用するレンディング・エージェントである三菱UFJ信託銀行ニューヨーク支店は20%となります。

なお、一部ファンドで既に実施している国内有価証券レンディングとのリスクウェイト金額の違いについては、「8. ご参考：国内有価証券レンディングとの相違点」をご参照ください。

## 6. リスクアセット表上の記載例

### 「明細(オフ)」シート：外株レンディング

| 商品分類    | 国コード | 通貨コード | 銘柄名        | 資産科目名称  | 信用リスク削減効果前    |               | 信用リスク削減効果後    |              | リスクウェイト |
|---------|------|-------|------------|---|---------------|---------------|---------------|--------------|---------|
|         |      |       |            |   | 想定元本          | 個別銘柄リスクアセット額  | 想定元本          | 個別銘柄リスクアセット額 |         |
| 信用取引・現先 | US   | USD   | 貸付有価証券(株券) | 有価証券の貸付、現金若しくは有価証券による担保の提供又は有価証券の買戻案件付売却若しくは売戻案件付購入 | ###, ###, ### | ###, ###, ### | ###, ###, ### | 0            | 0       |

システム仕様の制約により、信用リスク削減効果前は一律リスクウェイト150%でリスクアセット額を計算します

簡便手法の告示要件を満たし、リスクウェイトはゼロ%になります

### 「明細(オフ)」シート：リバースレポ(外債現先)

| 商品分類 | 国コード | 通貨コード | 銘柄名       | 資産科目名称  | 信用リスク削減効果前    |               | 信用リスク削減効果後    |               | リスクウェイト |
|------|------|-------|-----------|---|---------------|---------------|---------------|---------------|---------|
|      |      |       |           |   | 想定元本          | 個別銘柄リスクアセット額  | 想定元本          | 個別銘柄リスクアセット額  |         |
| 勘定   | US   | USD   | 差入保証金(現金) | 有価証券の貸付、現金若しくは有価証券による担保の提供又は有価証券の買戻案件付売却若しくは売戻案件付購入 | ###, ###, ### | ###, ###, ### | ###, ###, ### | ###, ###, ### | 20～150  |

システム仕様の制約により、信用リスク削減効果前は一律リスクウェイト150%でリスクアセット額を計算します

保証会社の格付に基づくリスクウェイトを適用します。

## 7. 外国有価証券レンディングに関するリスクアセット表以外の補助的に必要な帳票類について

補助的に必要なデータ等については、ご利用の販売会社を通じて弊社宛にご相談ください。

## 8. ご参考：国内有価証券レンディングとの相違点

| レンディング形式                          |  | 外国有価証券レンディング  | 国内有価証券レンディング  |
|-----------------------------------|--|---|---|
| 現在の対象資産                           |  | 米国株式等   | 日本株式等   |
| 貸出方法                              |  | レンディング・エージェントを介した貸出   | 国内証券会社等へ直接貸出  |
| 貸出有価証券に対して受領する担保                  |  | 現金  | 現金  |
| 担保の再運用                            |  | あり  | なし  |
| 担保の再運用手段                          |  | 債券、株式等ヘリバース・レポ取引  | —   |
| レンディング取引に係る信用リスク削減効果後のリスクアセット上昇金額 |  | 担保金残高×20%※1   | 担保金残高×20～50%※2  |
| 対象ETF※3<br>(ブランド名/銘柄コード)          |  | MAXIS米国株式(S&P500)上場投信/2558<br>MAXIS米国株式(S&P500)上場投信(為替ヘッジあり)/2630 | MAXIS 日経225上場投信/1346<br>MAXIS トピックス上場投信/1348<br>MAXIS S&P東海上場投信/1553<br>MAXIS JPX日経インデックス400上場投信/1593<br>MAXIS リート上場投信/1597 |

※1 リバース・レポ取引の保証人である、レンディング・エージェントのリスクウェイトを採用(現状20%)

※2 コール運用により、コール放出先のリスクウェイトを採用(現状大部分が20%、一部50%あり)

※3 国内有価証券レンディングの対象ETFは2025年10月末現在

以上